

JOMA通信



Japan Overseas Missions Association 海外宣教連絡協力会 公報

No. 84号

神様は福音を伝える門を

開いて下さっている



インマヌエル富士見台基督教会 牧師
2019年度JOMA 書記

野田 禎

全世界に出て行って全ての造られたものに福音を伝えなさい。

マルコ16:15

二期に渡って、書記をさせていただきました野田 禎と申します。皆さまのお祈りを感謝申し上げます。

■ 2019年ザンビア訪問団

昨年インマヌエル総合伝道団はザンビアに宣教訪問団を送りました。青年達を中心とし、牧師、宣教師も加わったチームでした。ザンビアには2名の医療宣教師を送っています。ジェンボクリニックは未だ医師がいません、そこで看護師が法的な可能な範囲で医療に従事し、授産師としての出産のケアや、また、薬の提供もしています。薬は慢性的に不足のなかですが、宣教師たちは様々な工面をしてできるだけ薬を提供しています。現地を見、現地の人々と交わり、医療物資の整理などもしました。そのことを通して、神さまがザンビアになぜ宣教師を送られるかを知り、またそこで医療を通してイエスキリストの聖名が伝えられていることを見て来ました。

この中から次の宣教師が生まれることを願っています。

現代、多くの外国人が日本にきています。海外から来ている人達や海外で信仰を持たれた人達のことを、ディアスポラと言っていると思います。ますますディアスポラ伝道は必要でしょう、今年のオリンピックで多くの外国人が来られるので、福音を伝える機会になると思います。



■ 神の恵みは国境を越えて

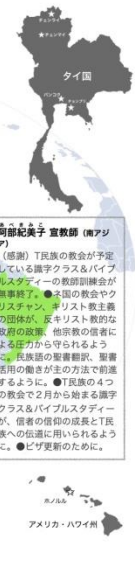
多くの要配慮の国々があります。JOMAの宣教師一覧でも、国名と人数だけ示されているところがあります。

ある要配慮の国のケースを記します。独学で日本語を学んでいたAさんは私たちの教会にある「聖書通信講座」を希望されて、インターネットで受講されました。あまりにも日本語文章が上手なので、本当に要配慮の国の方なのかと思うほどでした。いくつかの講座を終えた後、連絡が取れなくなっていました。数年後のある日、教会に電話があり「Aです、仕事で横浜にきています。洗礼を受けたいのですがいいですか」という切なる願いの声が聞こえてきました。教会に来ていただいてお話を聞くうちに、主はAさんに救いの信仰を下され、その日に洗礼を受けられ、二日後に国に戻られました。使徒の働きにある、エチオピアのカンダケの高官のようです。

今毎日、Aさんに日々のみことばと教会福音賛美歌の音源(歌)を送っています。彼とメールをしているときにJOMAが会議などで使っているZoom(ネット会議アプリ)のことを主は思い出させてくださいました。そしてZoomを用いて教会の礼拝にあずかることができるか試験をしました。そして2月のある日曜日に、その国の彼の部屋と教会がZoomでつながり、共に主に礼拝を献げることが許されました。ハレルヤ！講壇の側にはスマホでAさんの顔が映っています。礼拝の最初にスマホを会場に向け、互いに手をふりました。Aさんはイヤホンで音声を聞き、あらかじめ送ってあった賛美歌などの資料を手元に置いて、賛美をしておられました。礼拝の最後にも会衆席にスマホを向け、互いに手を振ってお別れしています。この形式の礼拝も三回目となりました。毎日要配慮の国の信仰者に福音を伝え、共に賛美を献げ、また日曜日にはともに礼拝を守ることができるのは、礼拝を守れることは夢のようです。

祈りが国境を越えるように、様々な方法を神さまは用いて福音を伝えることができる門を開いてくださっています。

宣教師の報告に福音の門が閉じられてしまうのではと案じ、宣教師とその地のクリスチャンを覚えているところもあります。名前を載せることのできない宣教師もいます。JOMAの宣教団体が互いに祈り合い、情報を交換する必要があります高まってきたと思います。



海外宣教に目が開かれる為に

東京フリー・メソジスト教団 宣教委員会委員長 星加優和

東京フリー・メソジスト教団ではいくつかの委員会に分かれて、それぞれの働きを行なっています。宣教委員会は長年、教団から派遣された宣教師のサポートの窓口としての役割を担ってきました。現在はハワイとサンパウロに宣教師をそれぞれ派遣しています。今回は2つの働きを紹介させていただきます。

■各教会が宣教祈禱会に取り組むことへの支援

ここ3年ほどで力を入れているのは、海外宣教に各教会で取り組むことができるためのサポートです。具体的には各教会で宣教祈禱会に取り組むことができるよう、2つのものを提供しています。

① “宣教師から祈りのリクエスト”の発行

毎月第一週に発行しています。東京フリー・メソジストからの派遣宣教師に加えて、定期的で開催してきたタイ宣教地視察ツアーで繋がることのできた宣教師の先生がたにもご協力をいただいています。教団教派を超えて、さまざまな立場の宣教師からの祈りのリクエストを1枚にまとめ、各教会に配信し、それぞれの宣教祈禱会に用いています。

② 巡回報告のサポート

そのようにつながることのできた先生たちが関東で巡回報告をされる際に、東京フリー・メソジストの教会を紹介し、礼拝や祈禱会でご奉仕をいただいています。宣教師と直接のつながりがある教会は定期的に様々な宣教師を招いて祈りも支援もより盛んになっていますが、そのようなつながりを持っていない教会もあるためです。“祈りのリクエスト”やニュースレターだけでなく、宣教師からの直接の報告を聞くことのできる恵みはやはりおおきなものです。また、その際の謝儀や交通費なども、各教会の必要と相談の上、宣教委員会の予算からサポートをしています。



タイの少数民族のためのミッションスクール。其々の民族衣装を着た子どもたちを愛おしむイエス様が印象的な絵

矢花祈・来子 宣教師 サウード教会 (ブラジル・サンパウロ、日本人・邦人伝道)

- 今年から来られた4年生、5年生に進級します。こちらでの学校生活2年目が守られるように。●夫婦の心身の健康が支えられ、サウード教会や他教会での奉仕を誠実に、神様の愛をもって行うことができますように。●サウード教会に集う高齢の皆さんの健康のために、若い世代の人たちが訪れて来ることで支えるように、また新しく来る方が起こることを。●70代後半の主任牧師、丹羽先生ご夫妻の健康が主によって支えられますように。

長谷部優美 宣教師 チェンマイ日本語キリスト教会 (チェンマイ)

- 2019年も祈り支えていただきありがとうございます。●2020年1月、19日に、クリスマス受洗者でした日本人女性の洗礼式があります。真実な証を準備してあらねます。辛いキリスト者としての出発となるようお祈りください。●26日には教会墓地にて高田氏の埋葬式です。野尻先生ご夫妻の葬儀も準備が完了しています。●26日に、お祈り支えていただく予定ですが、皆さま御国の民として歩むお祈りしたいと思います。

浜名真弘、マリヤ 宣教師 (チェンマイ、タイ人・邦人伝道)

- 2月3日にマレーシアで、タイのビザを申請しています。ビザがおりますようにお祈りください。●英語を教えるボランティア活動の準備が完了しています。●礼拝に出席する方々が参加できるように、リーダーのオズ牧師、エンジェル牧師と協力して支えられますように。●英語を教えるボランティア活動の準備が完了しています。●礼拝に出席する方々が参加できるように、リーダーのオズ牧師、エンジェル牧師と協力して支えられますように。

高橋由美子 宣教師 (南アフリカ)

- (感謝) 丁民族の教会が予定している親子クラスとハイスクール生の教会が、無事終了。●全国の教会やクリスチャン、キリスト教主義の団体が、反キリスト教的な政治的攻撃、他宗派の信者による暴力から守られるように、民族語の聖書翻訳、聖書活用の働きがその方法で進捗するように。●1民族の4つの教会で2月から始まる識字クラスとバイブルスタディーが、信者の信仰の成長と民族への伝道に用いられるように。●ビザ更新のために。

中岡和彦、直城 宣教師 パンコク日本語キリスト教会 (バンコク、邦人伝道)

- 同僚牧師のタイでの働きは今年三月までとなります。●受洗された兄弟の今後の信仰の歩みが豊かに祝福されるように。●牧師が訪問している移民収容施設におられる方々のため、施設内信者を告白した後に渡った姉妹のために、安否確認の中で、何年も収容されている方々の健康が守られますように。彼らの多くが難民申請をしています、そのプロセスのために。

早山博明、廣重 宣教師 (チェンライ、少数民族伝道)

- 新年からスタートに代わる新しい働きビザ (アカ族・男性) が来ました。長く働いてくれますように。●妻が「台吉」すぎて動けなくなりました。願くは新しいトラックが手に入りますように。●子供達が冬休を終えて帰ってきました。帰国してきていない子に帰ってくる子がいます (14歳・小学4年生・障害あり)。主が彼を養育し守ってくださいますように。

高木村人 宣教師 ホルノルキリスト教会(ワイ・邦人伝道)

- 新しく与えられた土地を主のためのために、十分に用いていけるように。●私たちが計画している九州宣教旅行の準備のために。●私たちがビザ更新手続きのために。●私たちの引継ぎは無事終わりました。●感謝します。●先週で家族は1人帰国 (牧師) を経験して戻っています。お祈りください。●熊の中にある方々のために、お祈りください。

③ 今後はインターネットも用いて

また2020年度は巡回報告に加えて、ブラジルに派遣している矢花祈・来子宣教師の宣教報告祈禱会もインターネットを通して、各教会で行うことを計画しています。子どもたちの学校もあり簡単に帰国する事はできませんが、今ではインターネットを通して、定期的にその声を聞き、またパワーポイントをブラジルから直接操作していただきながら報告を聞くことができます。



タイ宣教師視察ツアー。少数民族によるコーヒープロジェクト見学。川の向こう側はラオス

■タイ宣教地視察ツアーの開催

2020年2月20日～29日にかけて、北タイへの宣教地視察ツアーを実施しました。神は自分の心の中で働くだけではなく、世界に直接働かれていることを知れること。聞くだけでは、自分とは関係のない遠いことに思われがちな海外宣教への重荷が与えられること。献身者が起こされることを目指しています。私たちの教団からはチェンマイに野尻孝篤・明子宣教師を派遣していたため、これまでも3年に1度程度のペースで宣教ツアーを行ってきました。先生たちは2018年に帰国、また昨年には孝篤師が天に凱旋されましたが、その後もチェンマイ日本語キリスト教会との関係を継続し、野尻先生が紹介してくださったチェンライで活動されている平山宣教師夫妻・額賀宣教師夫妻とも、今回お会いすることができ幸いでした。

お祈りください・・・

◆日本同盟基督教団国外宣教委員会

- * 教会形成 現地教会の形成を目指す国外宣教のために。
- * アジア21 アジア全域を目指す国外宣教のために。
- * そして世界へ アジアの教会とともに全世界を目指す国外宣教のために。

◆日本ホーリネス教団

- * OMF主事の働きをしている伊藤めぐみ先生の健康のため。
- * 次の宣教師候補が与えられるように。
- * 毎年1月から2月に、ホーリネス教団宣教局主催で行っているミャンマー短期宣教のため。

◆ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)

- * 飢餓と飢餓関連の病気でなくなる人は毎日25,000人。ハンガーゼロが飢餓で苦しむ人々に仕えると共に、その代弁者となっていきますように。
- * 毎年10月前後に全国約30ヶ所で開催の「世界食料デー大会」が祝され、多くの人が集いますように。
- * フィリピンのタール山噴火後、被災者に支援を続けているハンガーゼロ関連団体「HOLPFI」の活動のために。
- * 全世界の国際飢餓対策機構で働く約3300名のスタッフの健康と安全が守られますように。

※※※ **新型コロナウイルス感染に対し、緊急で以下の祈りの課題が寄せられました** ※※※
(各教団・団体でも同様の祈りが必要と存じます。JOMA全体で祈りの交わりをして参りましょう)

◆OMF日本委員会

- * このために、日本からフィールドへの帰任、フィールドから日本への一時帰国予定を止むを得ず延期しなければならなくなった働き人たちが、忍耐と平安を持って主の時を待つことができるように。
- * 上記の働き人たちは教会訪問の予定を大幅に変更しなければならなくなり、諸教会にご迷惑をおかけしているが、よくご理解いただけるように。また、この状況の中、日本の教会が国内のことだけでなく、世界に目が開かれて感染拡大で苦しんでいる諸国のためにとりなすことができるように。
- * 各地にいる働き人の守りのために。

◆日本ウイクリフ聖書翻訳協会

- * 感染拡大に関連して、日本と世界各地での活動に大きな制限と影響が出ています。
- * 中止(あるいは延期)となったもの：
 - ・宣教師体験旅行を始めたとした各主催プログラム
 - ・(少なくとも)7月までに予定されていた複数の国際会議
 - ・総主事の宣教師へのメンバー訪問
- * 宣教師における渡航や移動の制限が広範囲で求められています。
- * それぞれの宣教師と家族の健康と安全が守られるように。
- * 宣教師団体と各宣教師が正しい情報に基づいて的確な判断をすることができるように。
- * このような状況をも主が用いてくださり、ご栄光が現わされますように。

JOMA協力会員へのご参加と加盟団体候補ご紹介のお願い

JOMAは、各宣教の地での戦いにある宣教師方にとって、また、背後にある宣教師団体・教派団体や多くの教会の皆様にとって、より意義のある「活動するJOMA」として、さらに活発に情報や知恵の共有、ネットワークのご提供をして参りたいと願っております。そのために、さらなる必要を満たすべく、JOMA規約第5条に基づき、協力会員(個人：年会費12,000円)を募集いたします。つきましては、皆様ご自身、または周囲の方で、世界宣教に重荷を持つ個人の方の積極的な入会をお誘い申し上げます。入会ご希望の方は、JOMA事務局まで、お問い合わせ下さい。(e-Mail: office@joma.jp)

(参考)JOMA規約 第5条の2：協力会員とは、個人において世界宣教に重荷を持ち、JOMAの活動に協力及び支援をする者とする。総会にはオブザーバーとして参加し、議決権、選挙権および被選挙権を持たないものとする。

なお、引き続き正会員としての加盟団体も募集いたします。海外宣教をおこなっている宣教師団体、教派団体が、共に主に在って一つの戦いを勝ち取るために、より強固なネットワークを構築すべく、もし未加入の団体をご存じの場合は、積極的な入会をお誘い下さい。

今後も引き続き、お祈りをお願いいたします。

JOMA総会延期のご案内

例年4月に開催し、本年も4月23日に予定しておりましたJOMA総会ですが、新型コロナウイルス感染拡大の終息の目途が立たないため、3月7日にJOMA役員全員の同意をもって、延期を決定いたしました。延期後の日程は、6月前後を考えておりますが、詳細は感染の状況やキリスト教各団体の対応状況等に鑑みつつ、JOMA役員会で決定し、随時各団体へのメール、JOMAホームページ等でお知らせして参ります。また、総会の延期に伴いまして、同日午前開催を予定しておりました、セミナー「メンバー・ケアについて」(講師: アンディ・ミーコ師)も延期となります。

各団体に於かれましては、4月に総会ご出席のため、先生方兄弟方にご準備いただいていたことと存じます。申し訳ございませんが、確保していただいていた日程をリリースしていただきますと共に、延期後の日程が決まりましたら、再度ご予約の確保をお願い申し上げます。

以上

♠ JOMA事務局だより 「台湾で学んだこと-台中教会訪問記」 ♠

昨秋、台湾への家族旅行の機会に、インマヌエル綜合伝道団(IGM) 台中教会を訪問いたしました。

私が、JOMA事務局に奉職してから2年半、その間に、JOMA派遣宣教師一覧を宣教師方お一人お一人の顔写真を並べながら編集させていただいたり、宣教地とネット中継を繋ぐセミナーやコンサートを開催させていただいたり、多くの宣教師の方々のお顔とお働きを知るようになりました。そのおかげで、各宣教地を訪ねて宣教師方に直接お目にかかってお話しを伺いたいと考え始めました。今回はその第1回目が叶ったというわけです。

IGM台中教会牧師の平瀬先生は在台20年以上で、台湾での宣教の状況と共に、暮らしや文化についても教えて下さいました。台湾は、人口の5~7%がプロテスタントで、カトリック(現地では「天主教」と呼ばれる)も加えるとクリスチャン率は10%を越え、日本の10倍以上にもなるそうです。ファストフード店でも讃美歌が流れることもあるということで、実際市中でも教会を多く見かけました。そのような中、台中教会は、日本人と台湾人の日本語話者が約半数ずつという、現地人宣教と在日日本人伝道の双方の働きをされていました。このような宣教地は、未伝地区等への伝道とはまた別の、経済的に豊かで肉の満足があるが故の戦いがあるとのことでした。

文化面では、台湾では中共の侵略への恐れから、人権意識が高く、労働者の権利も保護されているとのこと。労働者が元気なので、物作りの技術も発達しているのだそうです。実際、様々なIT技術などは、日本より1~2世代は進んでいる印象を受けました。また、労働者は基本的に定時で帰るので、親子の対話の時間があり、家庭で政治の話ができたり、子どものシティズンシップ教育もできているとのこと。これが、人民の民主主義の意識の高さにもつながっているようです。高校の卒業要件として、仕事に関する資格を何か一つ取得することが義務付けられていることもまた、台湾の人々の職業観を高め、労働意識や技術の向上に貢献しているのでしょう。

私たちは、たまたま家内が怪我をしていて、車椅子での旅行でした。バリアフリーも進んでいることにも驚かされましたが、ハード面以上に、人々が率先して譲ってくれ、声をかけてくれて、心の豊かさにも触れることができました。何度「謝謝」を言ったか分かりません。これもまた、人を大切に教育の成果なのかもしれません。

新型コロナへの着実な対応で、台湾の蔡英文総統の名前が日本でも知られるようになりました。彼女のリベラルな政治思想は、まさに高い人権意識の上に成り立つものであり、イエス様が教えて下さった「人を大切にする事」「平等で平和を目指す事」が体現されているものとも言えるかもしれません。

今、ウイルスによって、私たちは教会活動も制限され、身近な人に会うことすらままならない世の中になっています。しかし、一方で日本でも親子が同時に家にいる時間が増え、また、一般の会社員などが急速にネット会議に慣れつつあります。ネット経由なら、JOMA役員会やJOMAセミナーのように、物理的距離に関係なく、遠くの宣教地とも近隣と同じ条件で繋がることが可能です。これも、神様の不思議なご計画なのでしょう。例えば台湾で行われているような、親子で話す時間を作ったり、平和について考えたり、地球の裏側で飢えに苦しむ方々を知ったり、様々な人々の考え方を知るなど、今こそ、海外の宣教地に学べる良い機会なのではないでしょうか。

2020年3月 JOMA事務局 主事 大間 哲

◆ JOMA ホームページ、Facebookページ、事務局メールアドレスのご案内 ◆

ホームページ <http://www.joma.jp/> / Facebookページ <http://fb.me/JOMA.Office>

メールアドレス: office@joma.jp (旧アドレス jomaofficekanda@gmail.com でもしばらくは届きます)

